

# 令和4年度実施の認証評価結果における大学等の優れた取組みについて

公益財団法人 日本高等教育評価機構

## 1. 大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-1. 使命・目的及び教育目的の設定	関西国際大学	教育目標に掲げた六つの力・資質は明確で理解しやすく、各専門領域に掲げる目標を定める上で柱としていることは評価できる。
		尚美学園大学	音楽系大学として、従来のクラシック音楽のみならず、社会の変化に対応し既存の枠にとられない新しい分野における教育を提供していることは評価できる。
		相愛大学	教育改革に関する事業について、「教育改革経費事業」として学内で公募し、採択した事業に予算措置を講じることで、社会情勢に応じ教育改革を意欲的に実施している点は評価できる。
		東海学院大学	開学以来、スポーツの振興に力を注ぎ、学業と部活動を両立させ、「文武両道の精神」に従いスポーツ競技においてトップレベルの活躍を見せ、学生の協調心や自立心を高め「ひとづくり教育」に大きな役割を果たしていることは高く評価できる。
		広島経済大学	建学の精神や立学の方針を具体化するため、「Be Student-oriented（すべては学生のために）」を教職員の行動指針として定め、全教職員に理解と行動を求める努力を続けている点は評価できる。
		松本大学	「地域立大学」として情報発信の重要性を認識しており、ステークホルダーにとどまらず松本市及び周辺自治体等へ地域連携事業及び学内情報を積極的に発信している点は評価できる。
	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	愛知東邦大学	大学として九つのクレドを制定し、全教職員が各々のクレドを表明しており、それらを印刷物として学内外に配布していることは評価できる。
		金沢工業大学	平成 18(2006)年に学生の発意に基づき行動規範「KIT-IDEALS」を遵守することを採択した「学生宣言」を連綿と受継ぎ、学生・理事・教職員が三位一体で活動していることは評価できる。
		関西福祉科学大学	経営理念・教育理念・中長期計画を記載した「教職員必携」を毎年、「教職員必携 玉手山学園 AtoZ」は隔年で教職員に配付し、経営理念・教育理念・中長期計画・行動計画等の周知と理解を図っている点は高く評価できる。
		吉備国際大学	「中核センター」を中心に、教育開発部門、研究推進部門、社会貢献部門など役割を明確にした部門を設けることにより、それぞれの役割に応じた協議を可能にしている点は評価できる。
		金城大学	法人のビジョン・中期計画を理事長が毎年教授会で説明し、大学の使命・目的の再確認を毎年組織的に行うなど、共有・浸透・実践に常に注力している点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	千葉商科大学	「CUC Vision 100」を踏まえた中期経営計画の作成を通じ、役員及び教職員が関与する体制を整え、建学の精神の明確化や教育目的の整理を行っており、諸活動を価値創造プロセスとしてまとめ可視化した冊子である「千葉商科大学統合報告書」にも盛り込んで広く配布し、ウェブサイトにも掲載することで内外に周知している点は評価できる。
		名古屋女子大学	越原学園の歴史を常設展示する「越原記念館」を設置し、新入生にその実物資料による自校史教育を行った上で、創立者生誕の地である越原学舎（コロナ禍においては学内）で実施する必修科目「建学のこころ」は、建学の精神を学ぶ体験型導入教育として評価できる。
		人間総合科学大学	心身健康科学という新たな学問領域を構築し、それを基盤にした教養教育を導入し、総合的・学際的な人間理解を深めるとともに保健・医療・食・健康分野の専門職を養成していることは、高く評価できる。
		松本大学	大学の基本理念である「地域貢献」を実現するために、「地域づくり考房『ゆめ』」や「地域健康支援ステーション」といった組織を設置し、正課外における学生活動を大学がサポートしている点は評価できる。
基準 2. 学生	2-1. 学生の受入れ	大阪保健医療大学	アドミッション・ポリシーと関連付けた学力の3要素を定め、その重点度を軸とした各入学者選抜のポイントを学生募集要項で周知し、アドミッション・ポリシーに沿った多様な学生の確保に努めている点は評価できる。
		柴田学園大学	アドミッション・ポリシーに適合した学生を受入れるため、生活創生学部健康栄養学科及びこども発達学科の全ての選抜区分において、筆記試験の他に面接試験を導入していることは評価できる。
		星槎道都大学	学生募集について、知名度アップの取り組みや広報担当者の人的増員、広報費・広報戦略の見直しなどを行い、直近では、3期連続で入学定員を確保し、収容定員をほぼ充足する水準に回復させたことは高く評価できる。
		武蔵野学院大学	大学院の受験者向けに「研究計画ハンドブック」を作成し、ホームページで公開することで、入学前の研究計画の立案から入学後の研究生活への円滑な移行を促していることは評価できる。
	2-2. 学修支援	大阪経済法科大学	作成を推奨している卒業論文及び必修としている修士論文について、外国人留学生が日本語での執筆に取組む際に、通常の論文指導及び修士論文に対する日本語科目の担当教員による日本語表現の添削・指導に加え、日本人と留学生のSA二人による支援が国際教育交流センターで行われていることは、留学生に対する学修支援や学生間の交流促進という点において評価できる。
		大阪経済法科大学	「国際教育交流センター」には、留学経験者や元留学生の担当者が多く勤務しており、日本人学生と留学生の交流促進に積極的に努めていることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-2. 学修支援	大阪保健医療大学	教員に加えて卒業生を含んだ支援員によりサポートを行う「学習支援塾」を運営し、学生の知識修得を促進させるなど、学修支援の充実度を高める取組みを実施している点は評価できる。
		金沢工業大学	企業で働く社会人が授業支援に参加する「社会人共学者制度」を設け、学生に履修している科目の学修内容と社会の関わりを理解を深め、能動的な学修を促す取組みを実施していることは評価できる。
		関西国際大学	各教員のオフィスアワーのほかに、資格試験、キャリア支援などをテーマとしたセミナーを行う「センターオフィスアワー」を設定し、学生が少人数で学修することができ、教員への相談及び教員からの指導を行いやすい環境を整えていることは評価できる。
		吉備国際大学	出席管理システムの導入によって、2回連続で欠席した学生を素早く見つけ、そのリストを関係の教職員で共有し、退学や休学につながる可能性のある学生に対してはチューターやゼミ担当者がいち早く状況確認を行うなど、学科長を中心に教職協働で対応する体制を整備している点は高く評価できる。
		金城大学	学修指導担当教員が一人当たり数人の学生を担当し、毎月学修ポートフォリオを利用した学生の面談を行うなど、きめ細かい学修支援を実践していることは評価できる。
		甲南女子大学	「コモン・ルーム」を設置し、学科ごとの特色やニーズを生かしながら、きめ細かな学修指導・生活指導を行う公共スペースや学修成果のアウトプットの場として活用していることは評価できる。
		四国学院大学	研修を受けた上級年次生が初年次生の学修と学生生活全般を補助する「ピア・リーダー制度」を導入し、ピア・サポートによる学修支援に取り組んでいる点は高く評価できる。
		四国学院大学	障がいのある学生に対する講義保障として「ノートテイク・サービス制度」「アテンダント・サービス制度」「手話通訳者の派遣」など、幅広い学修支援を実施しており、多くの障がいのある学生が利用している点は高く評価できる。
		四天王寺大学	「学生スタッフに関する規程」において学生スタッフの従事する業務内容を具体的に定め、入学前の高校生に対して教員志望の在学生在が SA として英語の指導に携わるなど、学生の能力に合った分野を生かすことができるよう整備していることは評価できる。
		秀明大学	担任制度を設け、学修及び学生生活の課題、キャリア支援など一人ひとりにきめ細かい対応を行っている点は評価できる。
女子栄養大学	教育における「デジタルトランスフォーメーション(DX)」推進のため、教員と情報系職員による「情報教育システム委員会」「DX推進委員会」を組織し、学修支援及び支援方法の改革に取り組んでいることは評価できる。		
崇城大学	グローバル人材育成のため、「英語学習専用施設」を設置し、教職協働で英語学修支援に取り組む、コンテストで優秀な成果を挙げている点は高く評価できる。		

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-2. 学修支援	東都大学	チューター制度を設け、教員が学生とのコミュニケーションを重視し、入学から卒業まで一貫した支援を行っている点は高く評価できる。
		東北芸術工科大学	学科・コースごとに「学科・コース担当職員」を配置し、教学1課及び教学2課所属の副手と連携して教育活動について多面的に支援している点は評価できる。
		名古屋産業大学	学長直属のコースミーティングにおいて、学長、学部長、学長補佐、学科長、事務局長、コース責任者が学生の退学や休学を防ぐために情報共有をし、丁寧な学生支援をしていることは評価できる。
		日本体育大学	中途退学防止対策として、「n-pass」を使用して保護者に出席状況を公開・共有し、大学と保護者が連携して確認できるよう取組んでいる点は評価できる。
		人間環境大学	看護学部と松山看護学部においては、アドバイザー制度を導入して学生一人に対して「アドバイザー学生カルテ」を活用し、出席状況や学修状況の情報を共有するなどして担当教員が4年間学生支援を行う取組みを実施していることは評価できる。
		人間総合科学大学	通信制大学として開学した背景からICT（情報通信技術）環境整備にいち早く取組み、全学的に学修プラットフォーム「UHAS@Myキャンパス」を導入してオンラインによる学修支援の充実を図っていることは評価できる。
		弘前医療福祉大学	オフィスアワー制度について、利用実態の調査を実施し、その結果を今後の設計に生かす仕組みを整え、一定の成果を挙げていることは評価できる。
		美作大学	障がいのある学生の要望をくみ上げ、迅速に施設の一部を改修するなど、教職協働で適切に対応している点は評価できる。
		宮崎産業経営大学	「専門演習」「進路研究演習（Cナビ）」の二重の学修支援体制を採用し、1年次から4年次にわたり、少人数制によるきめ細かい指導を行っている点は高く評価できる。
		武蔵野学院大学	1年次配当の必修科目である「キャリア・デザイン1」「キャリア・デザイン2」は、単なるキャリア教育にとどまらず、大学におけるアカデミック・スキルも網羅しており、初年次教育としても高く評価できる。
	武蔵野学院大学	大学院学生が、将来、大学の教員として教育活動を行うことを見据えた資質・能力向上のための施策として、「大学院プレFD」をカリキュラムに取り入れていることは、従来の大学院教育にはなかった有意義な取組みとして評価できる。	
	横浜薬科大学	学修支援策として、学生相互による「学内個人指導制度」を導入し、学修意欲及び学力の向上に役立っていることは評価できる。	
	2-3. キャリア支援	大阪経済法科大学	難関国家資格試験等の合格を目指す特修講座「Sコース」を無料で実施しており、選抜試験を設け管理するなど、正課授業と併せて充実した支援を行っている点は評価できる。
	大阪樟蔭女子大学	キャリア支援において、一定条件下での「遠距離交通費補助制度」は、採用試験や面接を受ける学生への経済的支援の点から評価できる。	

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-3. キャリア 支援	金沢工業大学	長期就業型インターンシップ「コーオプ教育プログラム」を導入し、企業現場で実践的な課題に挑戦する機会を設け、産学協同により「自ら考え行動する技術者の育成」に努めている点は高く評価できる。
		作新学院大学	「資格取得支援室」において、就職活動時に有用な「公務員試験対策講座」「簿記検定試験対策講座」「IT パスポート試験対策講座」を無料で開講し、土日祝日を含む授業時間外でも個別指導等を積極的に行っていることは評価できる。
		静岡産業大学	大学の総合研究所と、藤枝市、磐田市、地元企業と連携してキャリア教育を行い、人材を養成していることは評価できる。
		四天王寺大学	就職活動の拠点として、交通に便利なあべのハルカスにサテライトキャンパスを設置し、職員を常駐させて学生及び卒業生に対して、本キャンパスと同程度の就職支援を実施していることは評価できる。
		柴田学園大学	卒業生による学生へのキャリア支援として、卒業生の近況を伝える「後輩の皆さんへ」に記載されたメッセージは、学生が就職先を決定する際に有効に活用されており、評価できる。
		星槎道都大学	北広島市や商工会と連携協力しインターンシップ先の開拓に努め、積極的にインターンシップを推進していることは評価できる。
		星槎道都大学	有償型インターンシップを制度化し、学生に対する教育と経済的支援とを高度に両立させている点は高く評価できる。
		東北芸術工科大学	学科別にキャリアセンター職員を配置し、学科教員とキャリアセンター職員が綿密に情報共有を行って学科の特性に応じたきめ細かいキャリア支援に当たっている点は評価できる。
		名古屋経済大学	「キャリアセンター委員会」を中心とした全学的なキャリア支援体制を整備し、インターンシップ又は学外実習を留学生も含めて原則として全学部で必修化し、充実した就職支援を実現している点は高く評価できる。
		日本体育大学	教職協働の教員養成プログラム「日体教学舎」により学部を越えて教職を希望する学生へのキャリア支援体制を充実させていることは評価できる。
		日本医科大学	研究配属期間以降も研究を継続した学生に「研究配属継続認定証」を発行し、優れた学会発表を行った者には「研究配属奨励賞」を授与して学生の研究意欲を向上させていることは評価できる。
		日本文化大学	長年にわたって高い水準の警察官実就職率を維持していることは、きめ細かいキャリア支援が行われている結果であり、高く評価できる。
		弘前医療福祉大学	既卒者の就労状況を踏まえた上で、早期離職防止のためのイベントを企画し実行していることは評価できる。
広島工業大学	「女子学生キャリアデザインセンター」を設立し、長年にわたり女子学生に対するキャリア形成支援や就業支援に取組み、外部団体から女性技術者育成に関する表彰を受けるなどの成果を挙げていることは高く評価できる。		
平成音楽大学	九州地方にある音楽大学として、極めて高い就職率を維持していることは評価できる。		

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-3. キャリア支援	美作大学	学生のUターン就職対策として、出身者の多い自治体と協定を締結し、その自治体の出身者が就職支援室参与として支援していることは評価できる。
		ものづくり大学	実働40日間の長期インターンシップを2年次必修科目として実施しており、学生のキャリア支援活動に効果的に活用している点は高く評価できる。
	2-4. 学生サービス	大手前大学	学修サポートセンターに専任職員・教員・学修支援相談員、PS (Peer Supporter) を常時配置し、教養科目から専門科目までの学生の学修支援を行っている点は評価できる。
		金沢工業大学	学生支援のため、学生による学生のための相談コーナー「学生ステーション」を設置し、学生スタッフが同じ学生の立場からアドバイスを行うピア・サポートの仕組みが機能していることは評価できる。
		金沢工業大学	キャンパス内に医師・看護師が常駐する内科の「扇が丘診療所」、臨床心理士・公認心理師が常勤する「カウンセリングセンター」及び簡易郵便局を設け、学生生活の利便性向上を図っていることは評価できる。
		吉備国際大学	学生食堂では、保護者と教職員で組織する「教育後援会」の支援により、一人暮らしで朝食をとらず登校しがちな学生のために「100円朝食」を提供し、学生の健康維持のための健康支援に努めている点は高く評価できる。
		吉備国際大学	地方自治体との連携により奨学金を確保し、学生の経済的支援を行っている点は、地域に根差す大学の優れた取組みとして高く評価できる。
		九州女子大学	保健室は、処置スペースと休養スペース（ベッドルーム）を分離し、相談に来る学生への対応と体調を崩してベッドで休養する学生への対応を分けている点は評価できる。
		四国学院大学	返還の必要のない大学独自の給付型の奨学金制度が充実しており、多くの学生が制度を利用している点は高く評価できる。
		鈴鹿医療科学大学	「SUMS ポイント制度」を導入し、学生の課外での活動を評価することで、社会貢献活動等の支援・促進を行っていることは評価できる。
		東北芸術工科大学	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、学生の学外活動が制限されたことに配慮し、臨床心理士である専任研究員のもと、心のケアを必要とする学生を個別にサポートする基盤を強化していることは評価できる。
		東北芸術工科大学	新入生に対して大学生の精神的健康調査 UPI を実施し、精神的健康度が低いと判断される学生へ早期に呼掛けるなど、能動的な支援に取り組んでいることは評価できる。
		東北芸術工科大学	学長会のもとに副学長、学生部長を中心とする「学生支援ワーキンググループ」により学生支援に対する全学方針を策定した上で、組織の垣根を越えてチームとして学生をサポートする体制を築いている点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-4. 学生サービス	日本体育大学	日本国内大学の中でいち早く新型コロナウイルスワクチンの職域接種会場として承認を受け、学生及び教職員への接種を開始し、学生が安心して学生生活を送ることができる環境整備に取り組むとともに、地域社会や留学予定者へのワクチン接種促進に貢献したことは評価できる。
		日本体育大学	教職員からの寄付で成立つ「雄渾奨学金」により、コロナ禍においても学費未納による中途退学者が例年よりも減少したことは評価できる。
		美作大学	自治体や地域住民、地域企業などの協力により、「無料野菜スタンド」を通じて学生への生活及び経済支援を充実させていることは評価できる。
	2-5. 学修環境の整備	大阪樟蔭女子大学	「田辺聖子文学館」「しょういん子育て絵本館」等を社会貢献や学生の学修に効果的に活用している点は評価できる。
		金沢工業大学	「ライブラリーセンター」において各学科等から選出された教員が、分野専門家「サブジェクトライブラリアン」として、図書等の選定、情報提供、利用講習会の実施など、学生・卒業生・他分野の教員をはじめ多様な利用者への適切な支援を行っている点は評価できる。
		九州女子大学	ミーティングや自学習の場として利用できる「九女ラウンジ」、洗練された女性になるために、身だしなみレッスンなども行われる「なでしこルーム」(パウダールーム)、学生一人ひとりが見えるロッカーに加えて、着替えのできるドレスルームも完備された「ロッカールーム」等、学則にもうたわれている「強くしてしなやかな女性」へと導くスペースが充実しており、快適な学修環境が整備されていることは評価できる。
		四国学院大学	コンサート、演劇、映画、講演会、シンポジウムなどが開催できる「ノトスタジオ」は、授業だけではなく、地域イベントや舞台公演の開催など、地域文化の交流拠点として、学外の人にも広く利用されており、高く評価できる。
		静岡産業大学	磐田キャンパスの3棟のスポーツセンターはそれぞれ異なる機能を有しており、授業、研究などに幅広く活用していることは評価できる。
		四天王寺大学	各資格取得のために必要なシミュレーション教育用の演習室やディブリーフィングルーム、防音設備の整ったピアノ練習室が多数あるなど、実習室や演習室などの施設や設備が充実していることは評価できる。
		秀明大学	教職員と連携・協力し、PCR検査の無料実施体制を構築することにより、必要時に学内で検査を完結することができる設備を有している点は高く評価できる。
		秀明大学	新型コロナウイルスに感染した者やその疑いがあるものを隔離できる部屋を確保することにより、学修環境を整えている点は高く評価できる。
		千葉商科大学	キャンパス内の利便性が高い場所に「CUC International Square」を設け、外国人スタッフを配置して、イベントを含む多彩な取り組みを実施し、国際交流を通じて学生の語学力向上及び国際的視野の拡充に寄与している点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-5. 学修環境 の整備	千葉商科大学	建物屋上太陽光発電設備と連系した蓄電池設備導入計画は、半永続的に電気を蓄えて使用でき、防災機能の向上を図るものとして評価できる。
		東京音楽大学	中目黒・代官山キャンパスは、遮音に考慮した練習室や最適な音響を施したレッスン室、最新鋭の設備を備えた「TCM ホール」「TCM スタジオ」を設けるなど、学修環境として優れており学生の学修成果及び意欲向上に資する点は高く評価できる。
		日本工業大学	5号館「ラーニング・キューブ」の1、2階にアクティブ・ラーニングスペース、学修支援センター、英語学習サポートセンター、教職教育センターを機能的に配置し、学生が有効に活用している点は評価できる。
		日本体育大学	世田谷キャンパスに「日本体育大学クリニック」を開設し、学生教職員だけでなく地域住民に対してもスポーツによるけがの治療や予防・アドバイスを行っていることは評価できる。
		広島経済大学	ラーニング・コモンズ機能を備える「明德館」は、土曜日・日曜日・祝祭日を除き、夏期・冬季・春期休暇中も朝から夕刻まで開館しており、学生の学修意欲に応える体制を整えている点は評価できる。
	2-6. 学生の意見・要望への 対応	大阪保健医療大学	学生代表者と教職員で構成する「学生満足度アゲ隊」からの提案を受け、学修・生活・環境改善につなげるなど、学生の意見をくみ上げるシステムを構築し、効果的に活用している点は高く評価できる。
		関西福祉科学大学	学生からの意見・要望を直接把握し、学生と教職員が一体となって環境改善を図る取組みの一環として「Tama『食』ワーキングチーム」を立ち上げ、実際に食堂の改善が行われたことは評価できる。
		吉備国際大学	学長直轄のブランディング実行委員会を設置し、積極的に学友会代表の意見を聴く場を設け、学生からの要望等を踏まえ、学修スペースの確保、機器整備等を行う体制を整備している点は高く評価できる。
		第一工科大学	各学期末に全教員の全授業科目を対象とした学生による授業評価の実施、評価結果の開示、「授業改善計画」の策定・公開、具体的な改善への展開のPDCA サイクルを確立しており、継続した授業品質の向上を図っている点は高く評価できる。
	基準 3. 教育課程	3-1. 単位認定、卒業認定、 修了認定	大阪保健医療大学
四天王寺大学			学部・学科の成績評価を別の学部・学科が三つのポリシーとアセスメント・ポリシーにのっとったものかについて調査した上で所見を作成し、当該学部・学科が「回答」を作成し検証する取組みを実施していることは評価できる。
星槎道都大学			履修指導や授業開始時のオリエンテーション等において、各授業担当者のみならず、学科サポーター、履修アドバイザーが各学生に対し趣旨や内容を周知している点は評価できる。



基準	基準項目	機関名	優れた点
基準3. 教育課程	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	東北芸術工科大学	ディプロマ・ポリシー達成の確認のため、学期ごとの単位修得状況やGPAの推移を視覚化した「パーソナルスコア」と、卒業時のディプロマ・ポリシー達成度を視覚化した「学修成果状況」を学生に配付していることは高く評価できる。
		金沢工業大学	教育目標「自ら考え行動する技術者の育成」を実現するため、問題発見・問題解決の能力を育成する「プロジェクトデザイン教育」を支柱に位置付ける教育システムを全学部において構築・展開していることは評価できる。
	金沢工業大学	同一授業科目を複数教員で実施する場合には、授業の実施前後に担当者会議を義務付け、授業の運営方法の確認や改善を行っていることは評価できる。	
	金沢工業大学	高校との接続では、検討が必要な数理系科目の教授法について高校と大学の教員で意見交換する機会を設けていることは評価できる。	
	金沢工業大学	所属する学部、学科の枠を超えて学生が1か所のクラスター研究室に参集し、共通のテーマを研究する制度を設置していることは評価できる。	
	九州共立大学	授業改善、資質向上を図るために、授業改善等の取組み事例や関連資料及びデータをまとめた授業マニュアル「FDハンドブック」を毎年度刊行し、非常勤教員を含む全員に配付していることは、評価できる。	
	九州女子大学	学科・専攻ごとにカリキュラムツリー、カリキュラムフローチャートの作成及び科目ナンバリングの整備を行い、教育課程の体系化、授業科目の系統性を明確にし、学生の履修や4年間を見通した学びに活用している点は評価できる。	
	甲南女子大学	平成29(2017)年度から全学共通科目にリーダーシップを主眼とする科目を開設し、社会での女性の活躍を後押しするプログラムを推進していることは評価できる。	
	国土館大学	大学の個性・特色として、全学部の新入生全員を対象とする「防災総合基礎教育」と総合教育科目に防災教育関連科目を全学部で開講することにより、災害時に社会で役立つ人材の養成に取り組んでいる点は評価できる。	
	静岡産業大学	「冠講座」など産官学連携に基づく科目を多く開設しており、その多くがPBL(Project Based Learning)の場として機能していることから、「県民大学宣言」という大学が目指す大学像に合致している点は評価できる。	
	静岡産業大学	「ラーニング・メソッド研究会」では、大学全体に共通する教育上の課題をテーマとして設定し、教授方法を研究するのみでなく、その研究結果を授業に応用し、教育効果の測定も試みるなど、教育活動の一部として機能している点は評価できる。	
鈴鹿医療科学大学	「SUMS-PO」による学修状況の確認(学生カルテ)などの学修・学生管理の見える化、eラーニングシステム「learningBOX」による多様な学修コンテンツの提供など、効果的で効率的な学修を促進するデジタル化を進めている点は評価できる。		

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準3. 教育課程	3-2. 教育課程 及び教授方法	千葉商科大学	サービス創造人材育成を目指し、「サービス創造大賞」を設けるなど、特徴ある正課外授業を行っており、学生の創造性を喚起する取組みとして評価できる。
		東海学院大学	「メディカル・スペシャリスト養成プログラム」は、社会で活躍する医療人養成を目的とする大学独自の教育プログラムで、各学科のディプロマ・ポリシーに基づく教育課程の体系の中で実施し、成果を挙げている点は高く評価できる。
		名古屋女子大学	「教育特色化推進経費」を設け、文学部から始まり全学に展開している「カンパセーション・サロン」など、特色ある教育活動への助成により教育効果が向上している点は評価できる。
		日本工業大学	実践的なものづくりを、工房教育を通じて行う「カレッジマイスタープログラム」は、大学の教育理念として掲げる「実工学の理念」を学生が身をもって体験でき、上級学年学生による後輩への指導や学生の自主性を重んじた取組みでもあり、評価できる。
		日本医科大学	「高機能シミュレーターとICTを活用した遠隔PBL」プログラムは、360度カメラを用いて撮影した画像を学生がVRゴーグルを用いて視聴、体感することができ、臨床実習前教育において効果を挙げている点は高く評価できる。
		日本医科大学	「GPA上位者特別プログラム制度」は、GPA上位者に対してeラーニング講義を利用することで講義への出席を免除し、短期海外留学や研究体験などを可能とする制度として評価できる。
		日本獣医生命科学大学	全学科の学生に対し、TOEIC(R)の受験を促すとともに、受験費用を大学負担で行っている点は評価できる。
		人間環境大学	「コマシラバス」を整備し、各回の授業内容を詳細に記述するなどの工夫を行うことで、学修効果と授業の計画性及びアクティブ・ラーニングの促進を図っていることは高く評価できる。
		人間総合科学大学	全学部に通学精神に基づいた「こころ」「からだ」「環境・社会」の側面から人間を総合的・学際的に理解するためのコア科目を配置し、学生からの支持を得ている点は独創的であり評価できる。
		広島工業大学	学修意欲の高い学生に対し発展トラックを設定し、特別講座の受講、大学院科目の先行履修、海外留学時の費用支援などの修学支援を行い、学修への動機付けとして成果を挙げている点は評価できる。
	松本大学	教養教育のカリキュラムは、建学の精神や基本理念の理解につながる「松本大学と地域」といった共通教養科目を開講するとともに、地域と連携した実践型教育「アウトキャンパス・スタディ」を取入れ、教育効果を高めていることは評価できる。	
	3-3. 学修成果 の点検・評価	金沢工業大学	学修成果の点検・評価は全学的な体制で多様な尺度や測定方法で実施しており、それらの結果は、関係する委員会で一元的に取扱い分析した上で、関係者との共有を図り、教育内容、教育環境及び教育改善につなげていることは評価できる。
		金沢工業大学	「KITポートフォリオシステム」を活用して学生の成長記録、学生自身の目標を教員、学生自身が理解できるように可視化していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準3. 教育課程	3-3. 学修成果 の点検・評価	関西国際大学	授業科目「評価と実践Ⅰ」「評価と実践Ⅱ」を設定し、授業内に学生自身が「KUISs 学修ベンチマーク」「ラーニング・ルートマップ」「学生リーダーチャート」「eポートフォリオ」を活用した学修成果の点検・評価を実行可能とする取組みは評価できる。
		吉備国際大学	令和2(2020)年3月及び令和3(2021)年9月卒業生の卒業時アンケート結果において、大学全体での満足度が複数の項目で高い結果となっており、その要因を探るため、アンケート時期、方法、解析方法など更なる検討が行われている点は高く評価できる。
		金城大学	授業アンケートの集計結果を「EIS」によって全学生と全教職員に公開し、学生のコメントを担当教員にフィードバックして教育の改善を図っていることは評価できる。
		鎮西学院大学	教育課程の柱である「コアモジュール学習プログラム」とその中核に位置する「コミュニティサービスラーニング・プログラム」に関して、「基盤教育センター」が中心となって学修成果の点検・評価を通じて抜本的に見直し、改善を図っていることは評価できる。
		人間環境大学	LMS(Learning Management System)を活用し、全科目の毎回の授業後に小テストを実施して形成的評価を行い、その結果をフィードバックすることにより、教育内容・方法と学修指導などの改善につなげていることは評価できる。
		広島経済大学	「『ゼロから立ち上げる』興動人の育成」の中核に位置付ける「興動館プロジェクト」の参加者に対し「人間力」の修得状況の評価に用いている「プログレスシート集計結果」について、多面的に分析を行い学生指導の改善に活用している点は評価できる。
		松本大学	学生の学修活動や課外活動、メディア露出、就職実績などを「学生版アニュアルレポート」として網羅的にまとめ、学生生活を含めた総合的な成果把握と教育内容・方法及び学修指導等の改善に活用していることは評価できる。
基準4. 教員・職員	4-2. 教員の配置・職能開発等	大阪樟蔭女子大学	FD活動について、参加奨励のために、講演会・研修会への参加や講師を務めた場合などにポイントを獲得できる「FDポイント制」を実施し、更に顕著なポイントを獲得した教員に対して学長顕彰を行うなど、工夫を凝らし積極的な取組みを行っている点は評価できる。
		金沢工業大学	教育内容・方法等の改善や効果的な実施を図るため、全学的な「教育フォーラム」、学科・課程で独自に実施する「FD研修会」、新任教員向けの「新任教員研修会」といった対象や範囲を適切に定めた上で、時代とともにテーマを設け組織的にFD等を実施していることは評価できる。
		関西国際大学	教員の業績評価を、大学独自のツールである「教員用eポートフォリオ」によって主要評価軸の業務を記録し、「関西国際大学教職員目標管理表」に基づいて評価点を算出の上行っている点は、客観的であり、教員の役割と目標を明確にしている点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 4. 教員・職員	4-2. 教員の配置・職能開発等	吉備国際大学	教員に授業アンケート結果に基づいた「授業改善報告書」の提出を義務付け、組織的に取り組む体制は評価できる。
		国土館大学	コロナ禍において、FD 活動として、オンライン授業実践報告会、ハイブリッド型授業実践報告会等を積極的に開催するとともに、令和 3(2021)年度においては専任教員全員が参加している点は評価できる。
		四天王寺大学	大学での教育歴が短い新規採用教員のために、「新任教員研修制度」により教育力の向上と教員相互関係の構築について支援を行っている点は評価できる。
		東北芸術工科大学	専任教員の業績評価について、教員ポートフォリオの作成・提出を義務付け、業績評価結果に基づき、処遇等へ反映させている点は高く評価できる。
		東北芸術工科大学	学生 FD 委員を任命し、半年に一度、FD 委員の教員と学生 FD 委員の意見交換の場を設け、学生から率直な意見を取入れ、FD 活動の質向上に努めている点は高く評価できる。
		人間総合科学大学	「FD・SD 推進委員会」が研修会参加報告や授業参観報告等を学内に向けてニュースレターとして発行し、FD 及び SD の活性化を推進していることは評価できる。
		弘前医療福祉大学	「FD 委員会」の活動状況を学生に周知するとともに、同委員会に学生を参加させ、学生の要望など直接意見を述べるができる取組みは評価できる。
		広島工業大学	FD は「教育開発センター」がマクロ、ミドル、ミクロ 3 レベルに体系化、実施し、その内容を機構誌掲載やアーカイブ化により常時閲覧に供し、教育研究活動の新たな取組みや改善に生かせる仕組みとしている点は評価できる。
	4-3. 職員の研修	九州共立大学	外部研修会に参加した職員が報告書を作成し、法人のグループウェア上の「情報共有広場」に掲載することにより、知識・情報の共有化を図り、全教職員が日常的に資質・能力を向上する仕組みを構築していることについては評価できる。
		九州女子大学	外部研修会に参加した職員が報告書を作成し、法人のグループウェア上の「情報共有広場」に掲載することにより、知識・情報の共有化を図り、全教職員が日常的に資質・能力を向上する仕組みを構築していることについては評価できる。
		金城大学	事務局職員の人事考課制度・目標管理制度の運営においては、重層的な規則・手続体系をきめ細かく制度設計し、PDCA サイクルを明示的に組込んだ目標達成度評定をルーティーンとして実践している点は高く評価できる。
		金城大学	令和 3(2021)年度には高い頻度で SD 研修会が実施され、コンプライアンス教育、新人・若手職員教育、個人情報保護、コロナ禍対応等、複雑化する日常業務に適宜対応する工夫が行われている点は高く評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 4. 教員・職員	4-3. 職員の研修	甲南女子大学	新任の事務職員を対象としたメンター制度の導入によって、新任職員が不安なく職務を遂行できるようにするとともに、メンターとなる職員にとっても、早期に人材育成に対する意識を醸成するなど、高い効果を上げている点は、評価できる。
		女子栄養大学	他大学と連携して SD 研修会を実施しているほか、相互に職員が出向するなどの人事交流を行い、情報交換を通じて職員のスキルアップを促し、業務改善につながる人材育成をしている点は評価できる。
		鈴鹿医療科学大学	「医療人底力教育」の体験プログラムに多くの事務職員が参加して学生の指導をしており、教えることにより自身の職能を高めるための機会を設けている点は高く評価できる。
		星槎道都大学	人事評価と部門長業績評価を組合わせて、教職員の 360 度評価を導入しており、全ての教職員が評価する立場、評価される立場になることで、人事評価制度の適正化を図っていることは高く評価できる。
		鎮西学院大学	全学 SD 研修会については、年 2 回、各 2 日間開催し、障がいのある学生へのケアサポート体制について知識や情報を共有する等工夫し、内容についても充実しており評価できる。
		東京成徳大学	「全学 SD・FD 研修会」に全教職員が参加し、研修会の報告・発表内容について学内の教職員から広くコメントを集めて全学で情報共有している点は評価できる。
		東北芸術工科大学	「役割等級制度」「評価制度」「報酬制度」から成る体系的な「職員人事給与制度」を構築し、「職員ポートフォリオ」とそれに基づく年次評価、評価の透明性・公正性を高める「合議評価会議」などの運用により、職員の資質・能力向上を図っている点は評価できる。
		名古屋女子大学	教職員の資質・能力向上のための研修体系に基づいた年度計画に沿って、大学運営の質を高めるため SD に組織的に取り組んでいることは、きめ細かい優れた取組みとして評価できる。
		広島工業大学	教職協働による教育改革の中心的役割の一翼を担う「経営事務職員」の育成を重視し、規則の整備、人事育成計画の策定、大学院での学位取得支援など、自己啓発に向けた体系的な制度を導入し積極的に活用している点は評価できる。
	松本大学	職員の資格取得や通信制大学院入学などを奨励しており、「学校法人松商学園専任事務職員の研修奨励制度に関する規程」を整備し、財政的な支援も行うことで職員のモチベーションを高めている点は評価できる。	
	4-4. 研究支援	金沢工業大学	民間企業の研究・開発施設も立地する「やつかほりサーチキャンパス」は、建学の理念である「産学協同」を推進し研究成果を社会還元する研究拠点として機能し、学部生や大学院生の研究活動の中心的な場として有効活用している点は高く評価できる。
		関西国際大学	五つの研究所を配置し、教員が自分の研究領域によって研究所に所属できることは、研究のモチベーションを上げ、個人研究のみならず、共同研究を通じたシナジーを生出す仕組みとして評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 4. 教員・職員	4-4. 研究支援	四国学院大学	教育改革を推進する主企画の一つである「マグノリア・カフェ」は、教員と学生が食事を交えて知のコミュニケーションを創造するという独創的な取り組みであり、主宰教員に対して特別企画教育研究費を配分し積極的に推進している点は評価できる。
		名古屋女子大学	総合科学研究所の設置については、研究活動に従事する機会を多くの教員に与えるとともに、「総合科学研究」の発行による研究成果の外部公表機会も確保し、研究活動の機会・環境・質を高めるなど、十分に整備され機能している取組みとして高く評価できる。
		日本文化大学	学生に対して、ゼミを通じて手厚い研究倫理教育を実施していることは評価できる。
基準 5. 経営・管理と財務	5-1. 経営の規律と誠実性	関西福祉科学大学	柏原市の「指定避難所」として、避難所としてのマニュアル・物資・資機材の整備を行うとともに、地域・消防組合との共催にて、教職員・学生・生徒が参加する「避難所運営演習」を毎年行っていることは評価できる。
		金城大学	衛生委員会を設置し快適な職場環境の形成に努め、週1回の学内巡視などを行い保全・整備に取り組んでいることは評価できる。
		鈴鹿医療科学大学	省エネルギーについて、高効率照明・高効率空調設備へ更新、「経費削減推進委員会」においてさまざまな取組みを進め、平成26(2014)年度と令和2年度(2020)年度を比較して顕著にエネルギー使用量を削減したことは評価できる。
		千葉商科大学	「千葉商科大学 SDGs 行動憲章」を策定し、環境目標として「自然エネルギー100%大学」の実現を目指すなど、環境への配慮に資する取組みを全学的に実践している点は評価できる。
		東北芸術工科大学	環境保全への配慮として、「BEMS」を導入し、キャンパス全体のエネルギー使用量の削減・効率化を実現している点は高く評価できる。
		東北芸術工科大学	上水道が停止した場合にも飲料水を確保できるよう、井戸水を利用した災害用配管を整備している点は高く評価できる。
		名古屋産業大学	雨水を利用した屋上庭園、太陽光発電や風力発電を導入する等、エコキャンパスとして教育に役立てていることは評価できる。
	弘前医療福祉大学	危機管理について、常に行動ができるよう体制を整備し、教職員の危機管理に対する意識の高さから、実際の災害時において、近隣福祉施設等の入所者を受け入れ、地域貢献活動を行ったことは、高く評価できる。	
	5-4. 財務基盤と収支	静岡産業大学	サテライトキャンパス「BiVi キャン」は学生のアクティブ・ラーニングの場として活発に運用しており、収入源多様化の一環の収益事業としても成果を挙げている点は評価できる。
		四天王寺大学	私立大学等改革総合支援事業に、継続して採択されており、大学の特色作りや地域社会への貢献などに積極的に取り組むことにより外部資金を獲得していることは評価できる。
		相愛大学	所有する資産の立地条件等を有効に活用した収益事業が、法人の収入確保に堅実に貢献していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 5. 経営・管理と 財務	5-4. 財務基盤 と収支	東京富士大学	「経営改善計画（平成 28～令和 2 年度）」に沿って、学生増による収入増、人件費を含めた支出削減などにより、計画 3 年目で黒字に改善しており、短期間で経営改善に取組み、改善につなげている点は評価できる。
		東北芸術工科大学	受託研究の受入れは、全体的に増加傾向が認められるなど順調に推移し、外部資金獲得の面のみならず、教育・研究の成果を地域・社会に還元する趣旨においても着実に成果を挙げていることは高く評価できる。
	5-5. 会計	静岡産業大学	監事による監査は、ガバナンス・情報・財務・教学等幅広く実施し、提言も多分野にわたって的確に実施しており、法人の監査体制の中心となっている点は評価できる。
基準 6. 内部質保証	6-1. 内部質保証 の組織体制	金城大学	自己点検・評価結果について分析・評価にとどまらず、教学マネジメント会議を設置して教育研究活動等の改善向上に向け、改善策の企画立案を行い、PDCA サイクルを強く意識し、実践力ある体制づくりに努めている点は評価できる。
		東京有明医療大学	内部質保証を担保するためのチェック機能の一つとして、非常勤である監事が毎月 2 回ほどのペースで大学及び法人に対する監査を実施しており、内部監査室長とも連携した業務監査が充実している点は評価できる。
	6-2. 内部質保証 のための自己 点検・評価	愛知東邦大学	IR 推進体制を更に充実させるために他大学と合同で IR 研修会を実施していることは評価できる。
		金沢工業大学	過去に蓄積されたデータを統合・分析し、学生の「つまずきポイント」を導出し、習熟度に応じて、つまずきやすいポイントを繰返し学修できる「アダプティブラーニング（適応型学修）」を開始するなど、学生一人ひとりの成長のための支援を進めていることは評価できる。
		関西国際大学	学内グループウェアで専任教職員が各会議体の報告書及びデータをいつでも閲覧できるようにすることで、各部局の課題の発見及び改善方策の立案などの自己点検・評価を促進し、事業計画に反映する自律的な仕組みを構築していることは評価できる。
		関西福祉科学大学	毎年度の「自己点検・評価シート」、中長期計画に基づき単年度計画として策定している「行動計画」の評価を、いずれもエビデンスに基づいて記述しており、エビデンスに基づく評価を徹底している点は評価できる。
		九州共立大学	法人及び大学の状況を記載した「福原学園ファクトブック」を毎年度作成して教職員に配付している。大学教職員各自は自己点検・評価活動のエビデンス資料として活用しているほか、事業計画アクションプランにも掲載し、進捗報告書の作成や実績報告書にも活用していることは評価できる。
		九州女子大学	法人及び大学の状況を記載した「福原学園ファクトブック」を毎年度作成して教職員に配付している。大学教職員各自は自己点検・評価活動のエビデンス資料として活用しているほか、事業計画アクションプランにも掲載し、進捗報告書の作成や実績報告書にも活用していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 6. 内部質保証	6-2. 内部質保証のための自己点検・評価	国士館大学	自己点検・評価活動の客観性・公平性を担保するために学外有識者等による「外部評価委員会」を設置し、外部評価員の意見を反映した改善・改革に取り組んでいることは評価できる。
		国士館大学	学内の基礎データを掲載した「KOKUSHIKAN UNIVERSITY IR Data Book」を発行し、学内外に積極的な情報公開を行っていることは評価できる。
		四天王寺大学	地元自治体、教育委員会、学校、企業等からの外部有識者を評価員とした外部評価者会議を開催し、教育研究活動について評価・助言を求めていることは評価できる。
		女子栄養大学	事業計画及び事業報告と連動した自己点検・評価の結果を、随時公表することによって全教職員が大学改革の内容及び方向性を共有できる仕組みを構築していることは評価できる。
		星槎道都大学	自己点検・評価活動の客観性・適切性を確保するための体制として、外部有識者を含む「教育改革有識者委員会」を設置し、外部有識者から広く意見を募り改善に反映させる取組みは評価できる。
		東京富士大学	IR推進室において、学生の学修や生活の情報を集約した学生ポートフォリオを作成し、必要に応じて演習の担当教員に開示するなどして、学生の支援に活用している点は評価できる。
	6-3. 内部質保証の機能性	金沢工業大学	自己点検・評価活動の結果として、特色ある教育を支える教学システムの充実や文部科学省補助事業の採択など、教育研究の成果を挙げていることは評価できる。
		甲南女子大学	学長のリーダーシップのもと、内部質保証を全学的かつ効果的に推進し、中期計画・年度計画のPDCAサイクルと連動させ、着実な進展を図っている点は、高く評価できる。
		千葉商科大学	包括協定を締結している千葉県市川市に、大学の取組みに対する評価を依頼し、市川市から「千葉商科大学の取組みに対する評価・意見書」が提出されており、学外の評価・意見を取入れている点は評価できる。
		名古屋産業大学	自己点検・評価委員会に外部評価委員が積極的に参画し、点検活動に貢献していることは評価できる。

## 2. 短期大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	松本大学松商短期大学部	APの「卒業時における質保証の取り組みの強化」の成果を踏まえて学修成果を可視化していることは評価できる。
基準 2. 学生	2-1. 学生の受入れ	松本大学松商短期大学部	地域の要請や高校生のニーズに合致した学びの場を提供するなど、地域とのつながりを重視することで、短期大学全体、また各学科において入学定員、収容定員ともに適切に確保していることは評価できる。



基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-5. 学修環境の整備	東海学院大学 短期大学部	図書館内に多数の絵本、大型絵本、紙芝居等を所蔵する「東海えほんの森」を開設し、学生の「幼児教育実践の場」として活用している点は評価できる。
基準 3. 教育課程	3-2. 教育課程及び教授方法	松本大学松商 短期大学部	地域の企業、自治体、団体などで体験的に学ぶ独自の授業形式「アウトキャンパス・スタディ」を設置し、学生が一斉に学外で学修する「アウトキャンパスデイ」を設けて、多くの学生がこの授業を体験して教育効果を挙げていることは評価できる。
	3-3. 学修成果の点検・評価	松本大学松商 短期大学部	学生の学修活動や課外活動、メディア露出、就職実績などを「学生版アニュアルレポート」として網羅的にまとめ、学生生活を含めた総合的な成果把握と教育内容・方法及び学修指導等の改善に活用していることは評価できる。
基準 4. 教員・職員	4-3. 職員の研修	松本大学松商 短期大学部	職員の資格取得や通信制大学院入学などを奨励しており、「学校法人松商学園専任事務職員の研修奨励制度に関する規程」を整備し、財政的な支援も行うことで職員のモチベーションを高めている点は評価できる。